

富沢中学校生徒の体験学習実施

マネースクールでお金の大切さ実感

平成23年11月16日(水)～19日(金)の三日間、宮城第一信用金庫大野田支店で仙台市立富沢中学校の生徒さん4人を招き職場体験とマネースクールを開催いたしました。生徒さんたちにとっては学校では触れることのできない、実際の金融機関での生の体験をして頂きました。

この企画は、同校において中学校2年次における「社会体験学習」の一環として、警察、消防署、保育所、区役所、農園、流通業その他の民間企業等に生徒の受け入れを依頼し例年実施して来られましたが、当金庫での受け入れ依頼は昨年引き続き2回目です。



初日は当金庫の矢口理事の挨拶にて開講。その後、営業店内を案内し実際の「お金の重さ」を体験。特に模擬1万円札で1億円相当が入った時のジュラルミンケースの重さ(11Kg)や大量の硬貨の重さを体験し、驚いた様子でした。二日目の18日(木)には生徒さんたちに本部を訪問して頂き、理事長との懇談や各部の見学もして頂きました。座学では金融のはたらきや、信用金庫の役割から振り込め詐欺・多重債務等現在の金融にかかわる社会問題まで幅広く学んでいただきました。

また、模擬紙幣を使用してお札を数える「札勘」も体験して頂きました。生徒さんたちは「指に力が入りすぎて、手が痛い。」と言いながらも真剣に取り組んでおられました。

今回受講された生徒さんは受講態度も大変真剣であり、講師となった職員も大変手ごたえを感じた次第です。お金の大切さについて生徒さんたちの将来に少しでも役立つよう祈ります。

